

ふれあい・支えあい交流事業



【明治学区】

■世帯数：5,113 世帯

■人 口：10,993 人

■面 積：0.981 k m²

平成 26 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

「ふれあい・支えあい」を学区全体の目標とし、明治コミュニティセンターや小学校にて年間を通じ様々なイベントや事業を実施。年間の延べ参加者数は約 3,000 人。

- ・独居高齢者給食会「すみれ会」
- ・子育てサロン
- ・シルバーパワー活動
- ・ネットワーク活動
- ・高齢者サロン「いりゃーせ」「さわやか」
- ・イモ植付と焼き芋大会
- ・男性サロン「グラン・パ」
- ・餅つき大会
- ・「てうちうどん」の会との交流会
- ・青パト活動をはじめとする防犯活動
- ・障がい者施設との交流
- ・コミセンニュースの発行(年4回)
- ・サンタクロースの会
- ・小学1・2年生と高齢者との交流会
- ・エコキャップ運動(小学校と合同)
- ・小学3～6年生との交流会

【住民へのPR方法】

チラシの各戸配布、回覧、掲示板への掲示や毎月の定例会を通じて案内している。

【アピールポイント】

学区と学校が密接な関係を保持して一体となり、行事に取り組んでいる。数多くの行事が実施できている。民生関係者の並々ならぬ協力とリーダーシップ、団結力で多くの住民の参加、協力が実現できている。

2 きっかけ、背景

少子高齢化に伴い、今までは個として捉えていた各事業を面としてとらえ、学区目標とした。特に世代間交流をメインにかかげ、輪を広げ、発展させ、ふれあい・支えあい交流を通じ、住民が安心・安全・快適に過ごせるまちづくりをめざしてきた。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、女性団体・女性会、子ども会、老人クラブ、スポーツ推進委員 計延べ約 500 人

(2) 運営協力

40 代・50 代の方や、PTA の方に各行事の協力者として加わっていただいているほか、行事に適した方に協力をいただいている。

4 実施のスケジュール

毎月 70 人のメンバーで定例会を開催し、提案を審議しスケジュールや役割等を決め、役員会が核となって民生関係者を中心に区政協力委員はじめ大勢の協力者に参加していただき、進めている。

5 成果と課題

(1) 成果・効果

多くの学区内住民がそれぞれ行事に参加・協力し、盛り上げてくれることで、参加者の増加、住民意識の高まり、住民間の交流の深まりにつながっている。

(2) 苦労した点

活動の担い手となる方が不足しており、40 代・50 代の方や PTA からの参加を得るため、工夫を重ねている。

(3) 今後の課題・展望

活動の継続と担い手の世代交代が課題である。また、今後は子どもを支援する事業の充実を図っていく。

(4) メッセージ・アドバイス

幼児・子ども・高齢者・障がい者の支援を学区全体として多くの人が関わり参加して取り組む事が大切です。